

第5次宇土市総合計画策定に向けた 市民アンケート調査

調査結果概要

平成22年3月

1 調査の概要

1-1 調査の対象・実施方法・回収結果

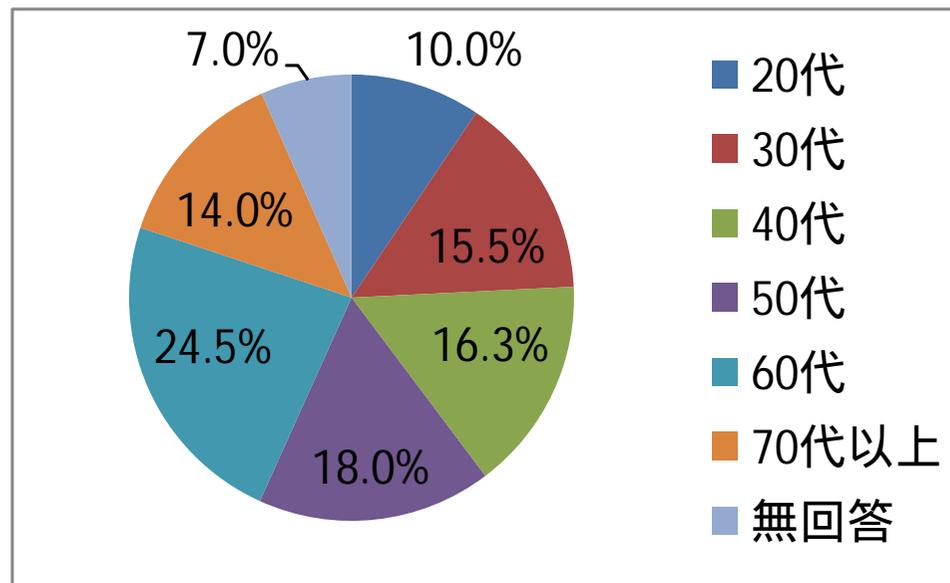
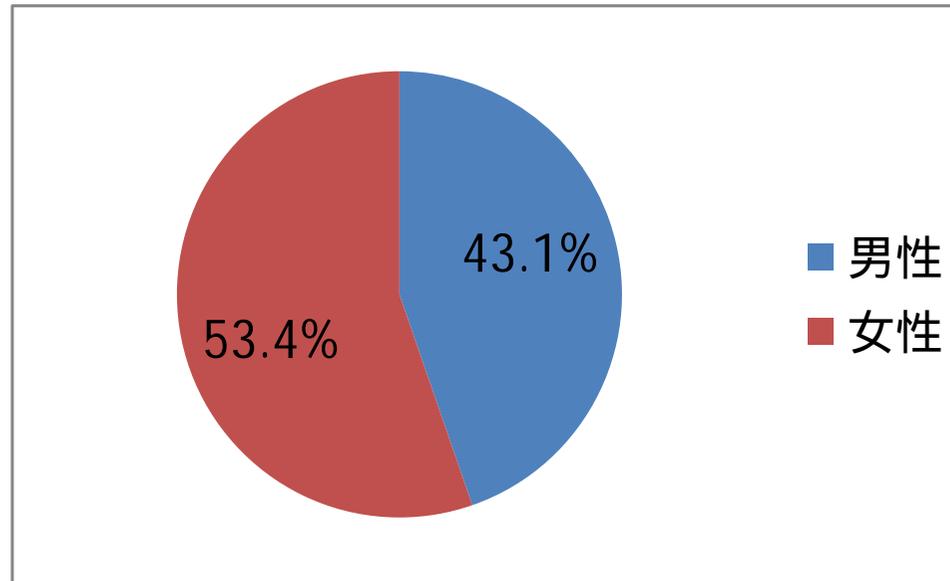
■ 調査対象、調査の実施方法

| | |
|---------|---|
| 調査対象者数 | ● 2,600人 |
| 対象者抽出方法 | ● 満20歳以上の市民から無作為抽出 ● 小学校区ごとの人口に注目した比例配分法による層化無作為抽出方式 |
| 調査方法 | ● 郵送による配布, 郵送による回収 回答は無記名 |
| 調査時期 | ● 平成22年2月8日(月) ~ 平成22年2月21日(日) |

■ 調査票の回収結果

| | |
|-------|----------|
| 標本数 | ● 2,600票 |
| 回収数 | ● 1,262票 |
| 無効票 | ● 1票(白票) |
| 有効回収数 | ● 1,261票 |
| 回収率 | ● 48.5% |

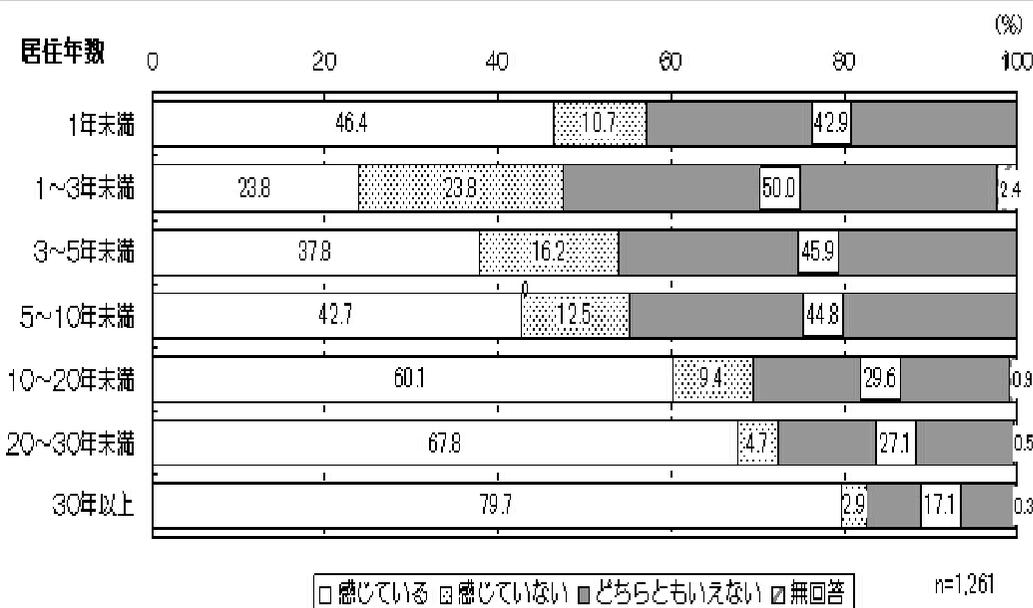
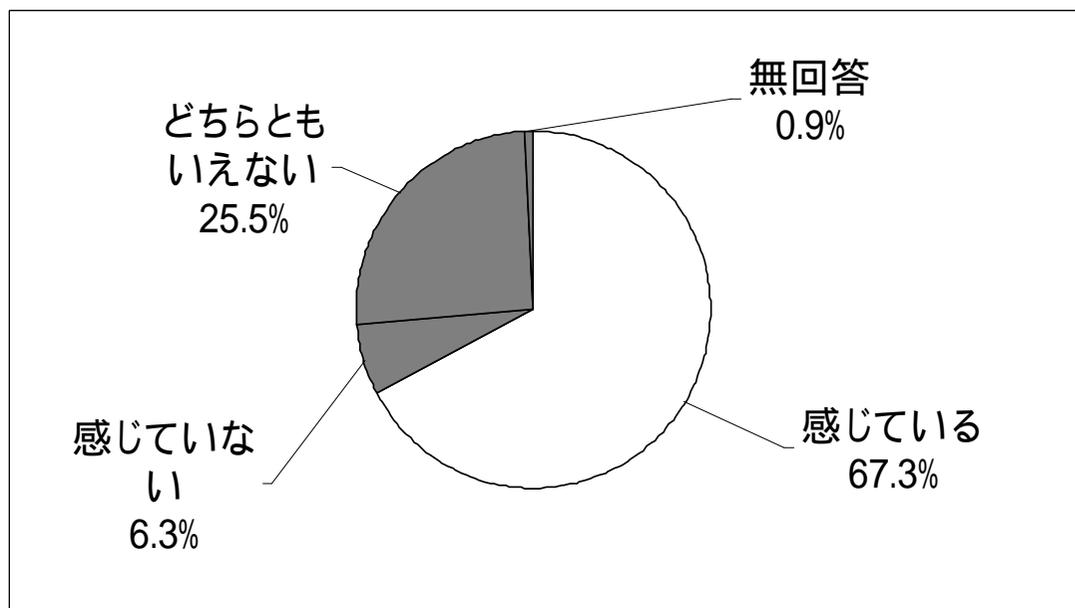
1-2 回答者の属性



2 調査の結果

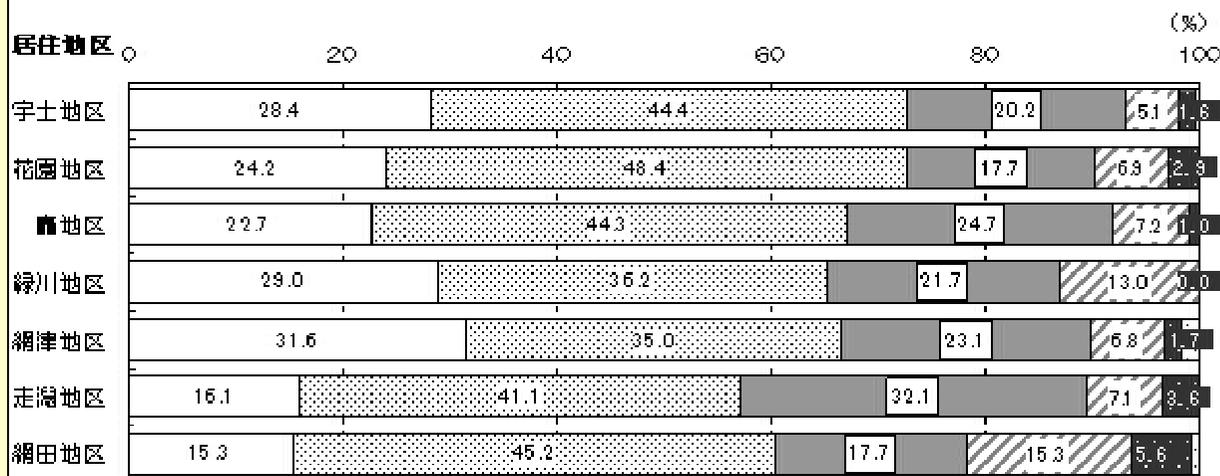
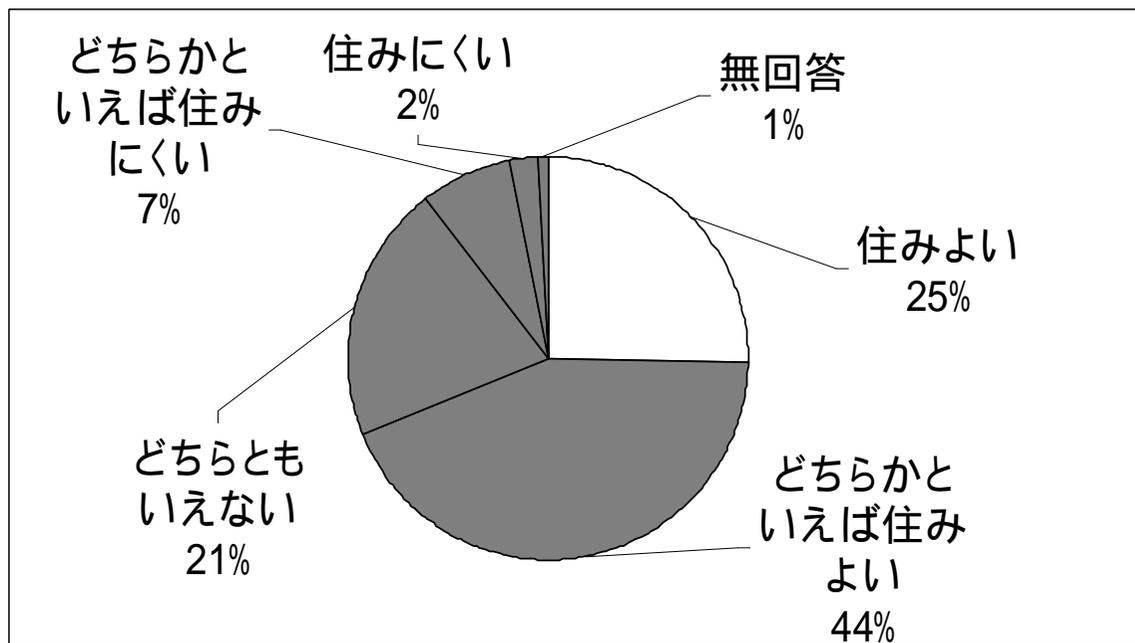
2-1 宇土市への愛着

- 「感じている」と回答した人が最も多く、全体の67.3%。次いで「どちらともいえない」と回答した人が、25.5%。
- 居住年数が増えるにつれ、市への愛着度が高まっている。30年以上の居住者においては、約8割が市への愛着を「感じている」と回答。



2-2 宇土市の住みこち

- 「どちらかといえば住みよい」と回答した人が最も多く43.6%。次いで、「住みよい」と回答した人が25.4%。
- 「住みよい」との回答は「網津地区」で最も多く31.6%、次いで「緑川地区」で29.0%、「宇土地区」で28.4%。一方、「住みよい」との回答が少ないのは、「先瀉地区」と「網田地区」で2割以下。

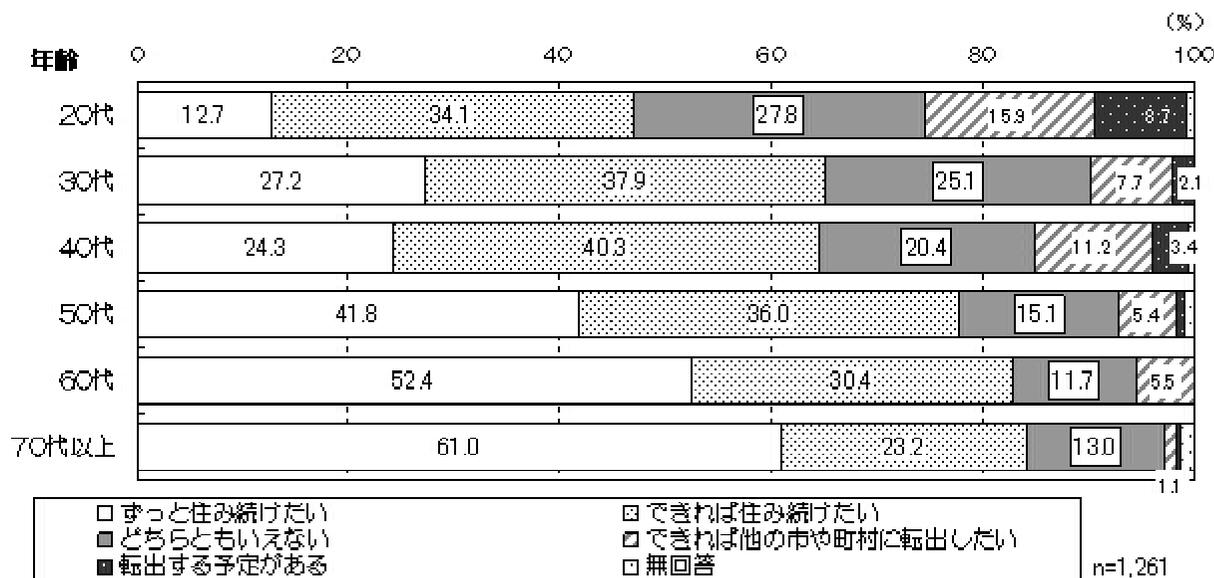
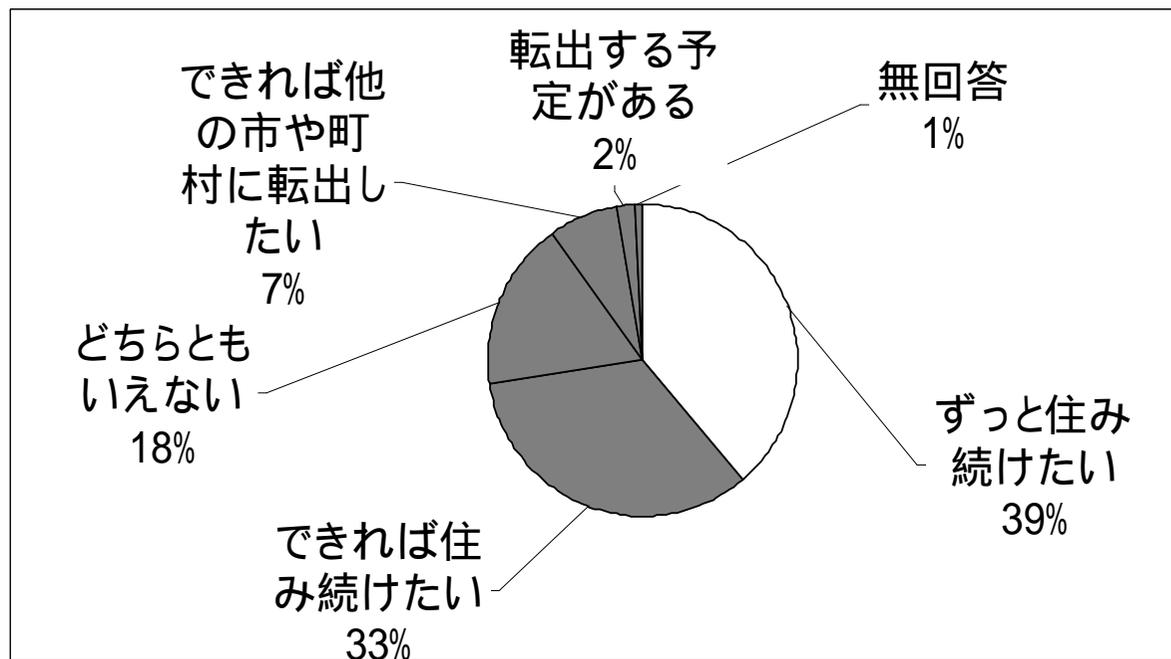


□ 住みよい □ どちらかといえば住みよい ■ どちらともいえない
 □ どちらかといえば住みにくい ■ 住みにくい □ 無回答

n=1,261

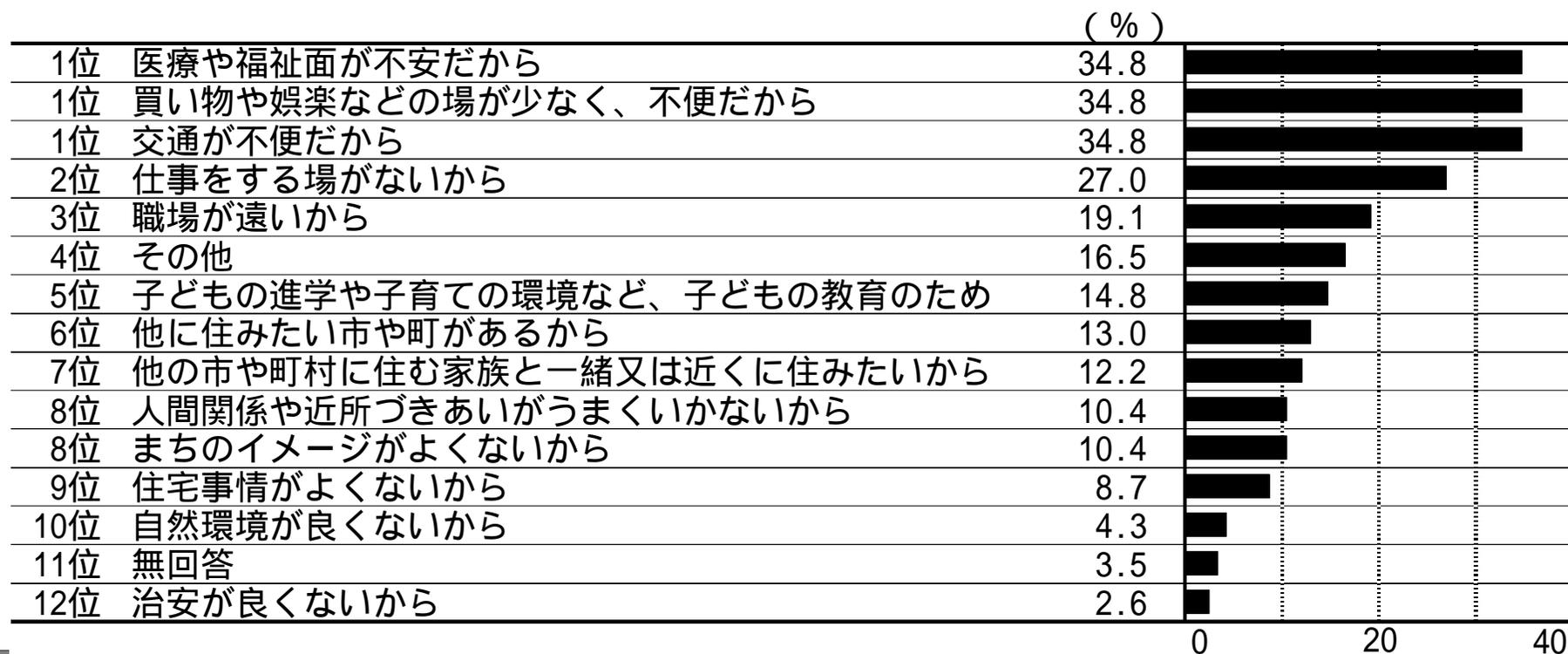
2-3 宇土市への定住意向

- 「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」と合わせると7割以上となり、定住意向が強い。
- 「できれば他の市や町村に転出したい」あるいは「転出する予定がある」との回答は、20代がそれぞれ最も多く、次いで40代、30代と続く。



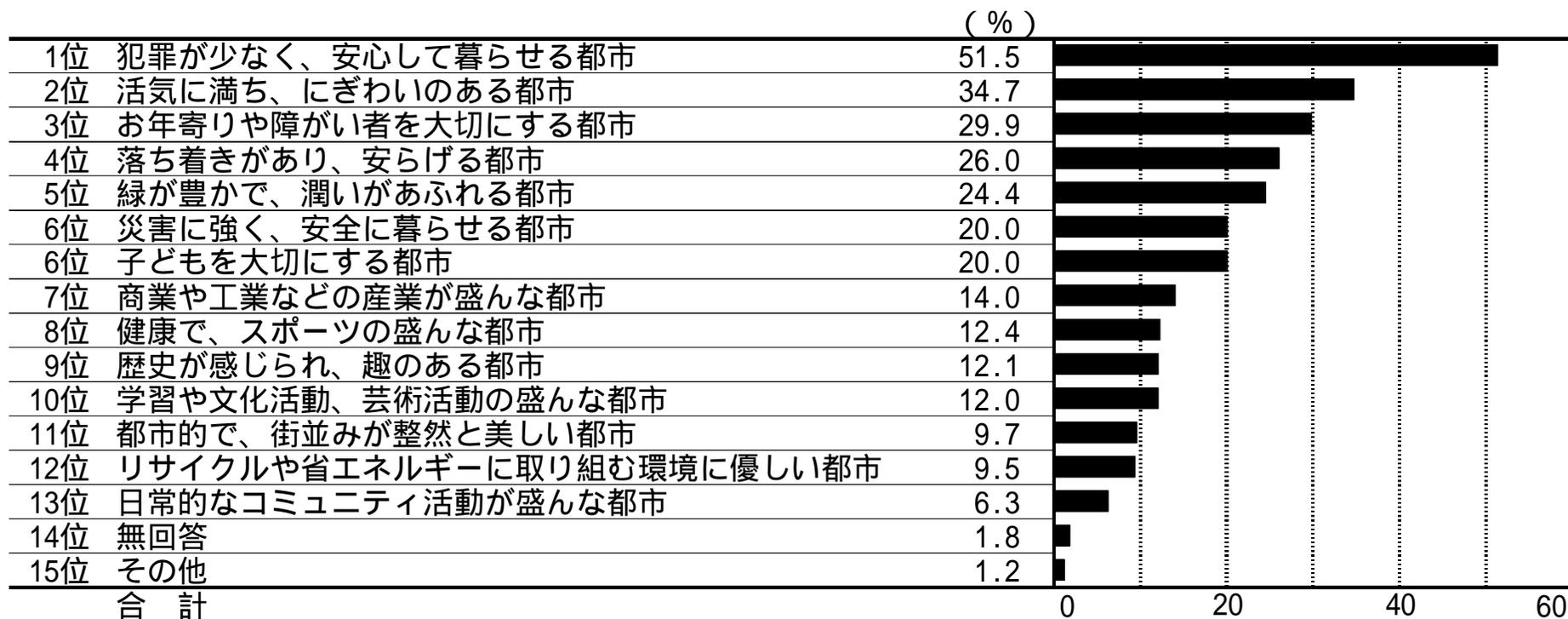
2-4 宇土市から転出したい(する)理由

- 2-3で転出したい(する)と回答した人の理由
- 「医療や福祉面が不安だから」と「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」と「交通が不便だから」と回答した人が、それぞれ34.8%で最も多く、次いで「仕事をする場がないから」と回答した人が、27.0%。
- 4位「その他」は、転勤・進学、家業を継ぐための人が多い。6位「他に住みたい市や町があるから」は、「熊本市」や「福岡市」が多い。



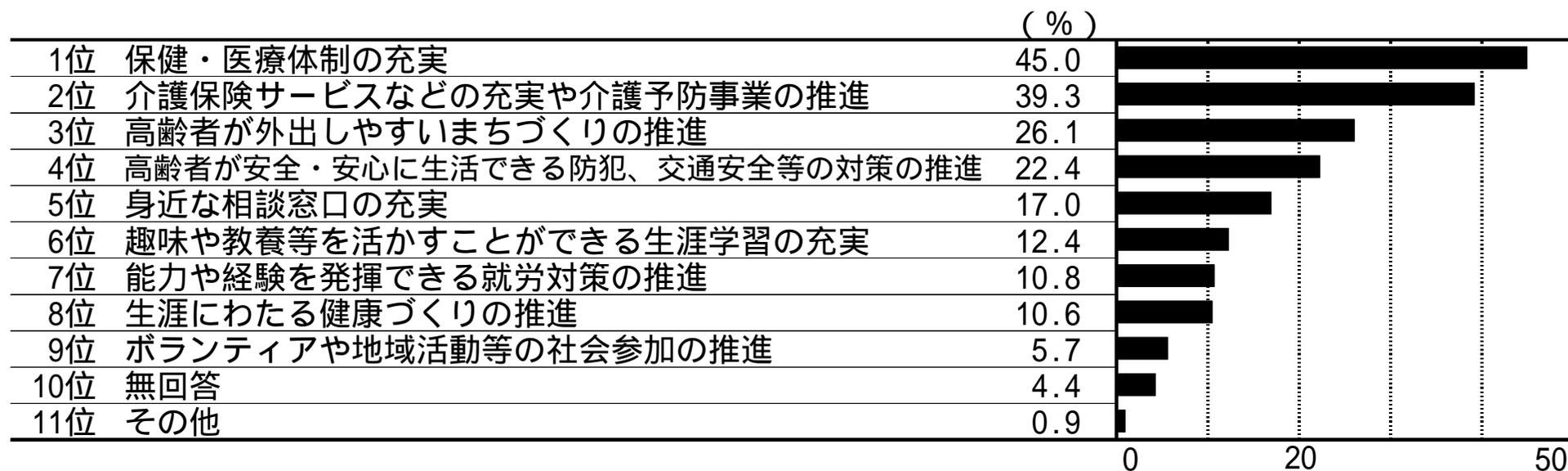
2-5 宇土市の将来像

- 「犯罪が少なく、安心して暮らせる都市」が最も多く約半数(51.5%)。次いで、「活気に満ち、にぎわいのある都市」が34.7%、「お年寄りや障がい者を大切にする都市」が29.9%。
- 「その他」の回答は、「交通の便がよい都市」や「福祉が充実した都市」等。



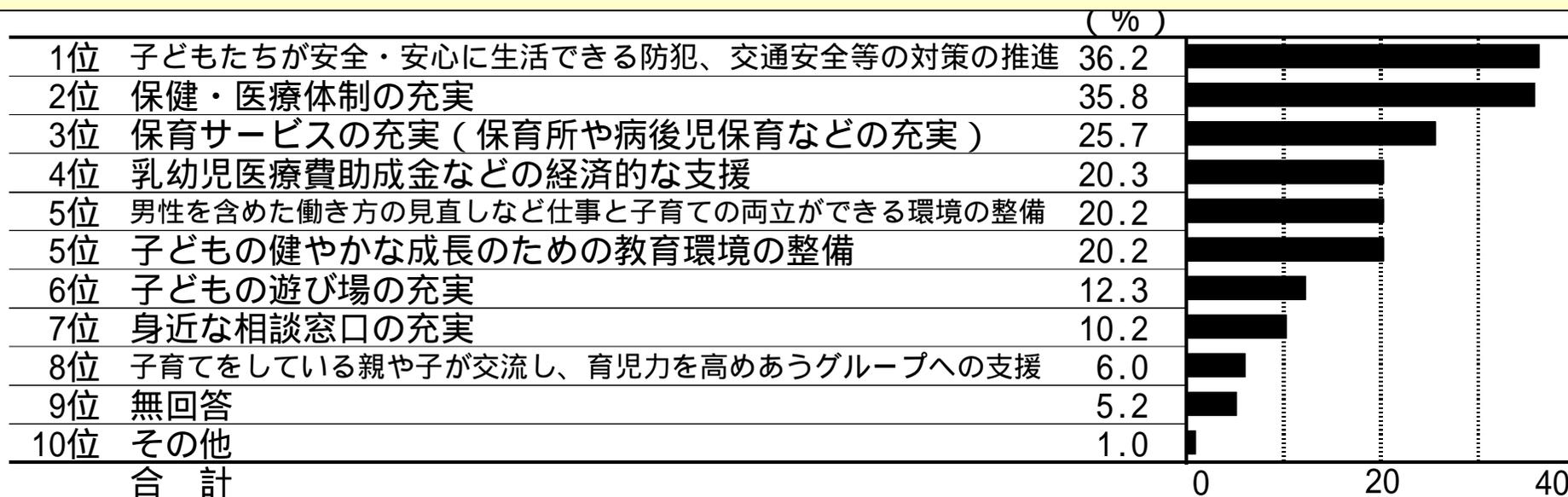
2-6 超高齢社会を迎えるにあたって

- 回答者が高齢者になった時、宇土市での生活に重要と考えていること
- 「保健・医療体制の充実」が45.0%と最も多く、次いで「介護保険サービスなどの充実や介護予防事業の推進」が39.3%、「高齢者が外出しやすいまちづくりの推進」が26.1%。
- 一方、「ボランティアや地域活動等の社会参加の推進」や「生涯にわたる健康づくりの推進」、「能力や経験を発揮できる就労対策の推進」との回答は少なく、1割程度以下。



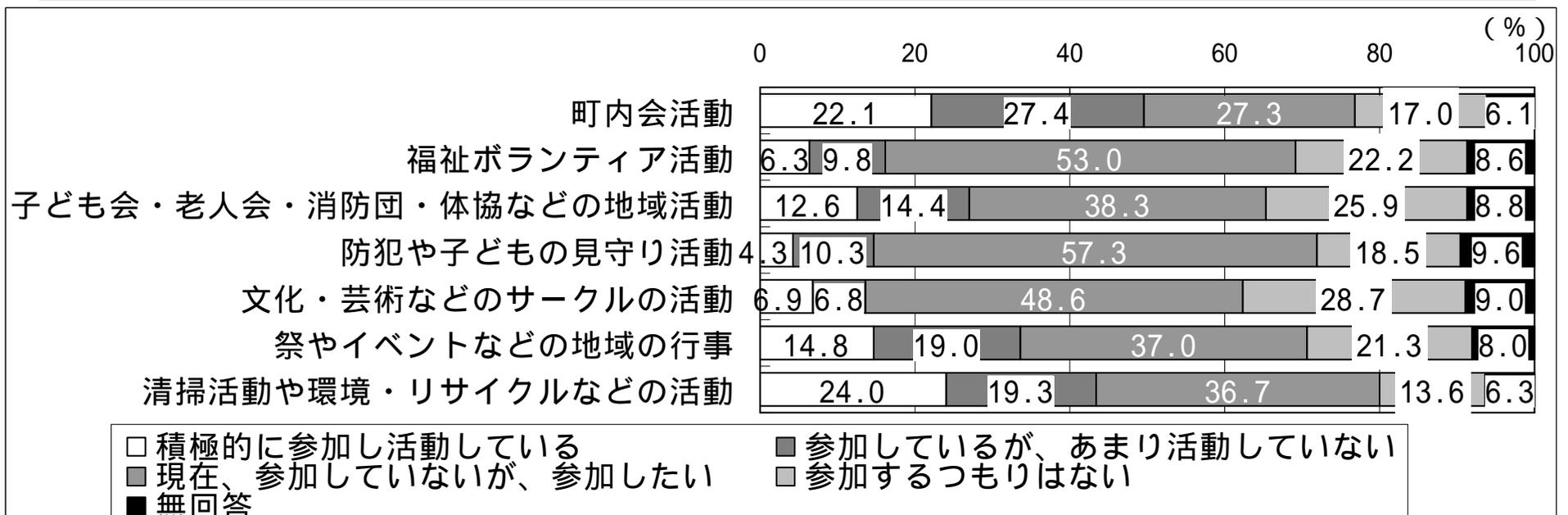
2-7 子育て支援充実のために

- 回答者が子育てをする場合に重要だと考えていること
- 「子どもたちが安全・安心に生活できる防犯、交通安全等の対策の推進」が36.2%と最も多く、次いで、「保健・医療体制の充実」が35.8%、「保育サービスの充実（保育所や病後児保育などの充実）」が25.7%。
- 一方、「子育てをしている親や子が交流し、育児力を高めあうグループへの支援」や「身近な相談窓口の充実」との回答は少なく、1割程度以下。



2-8 まちづくりへの参加状況(活動分野別)

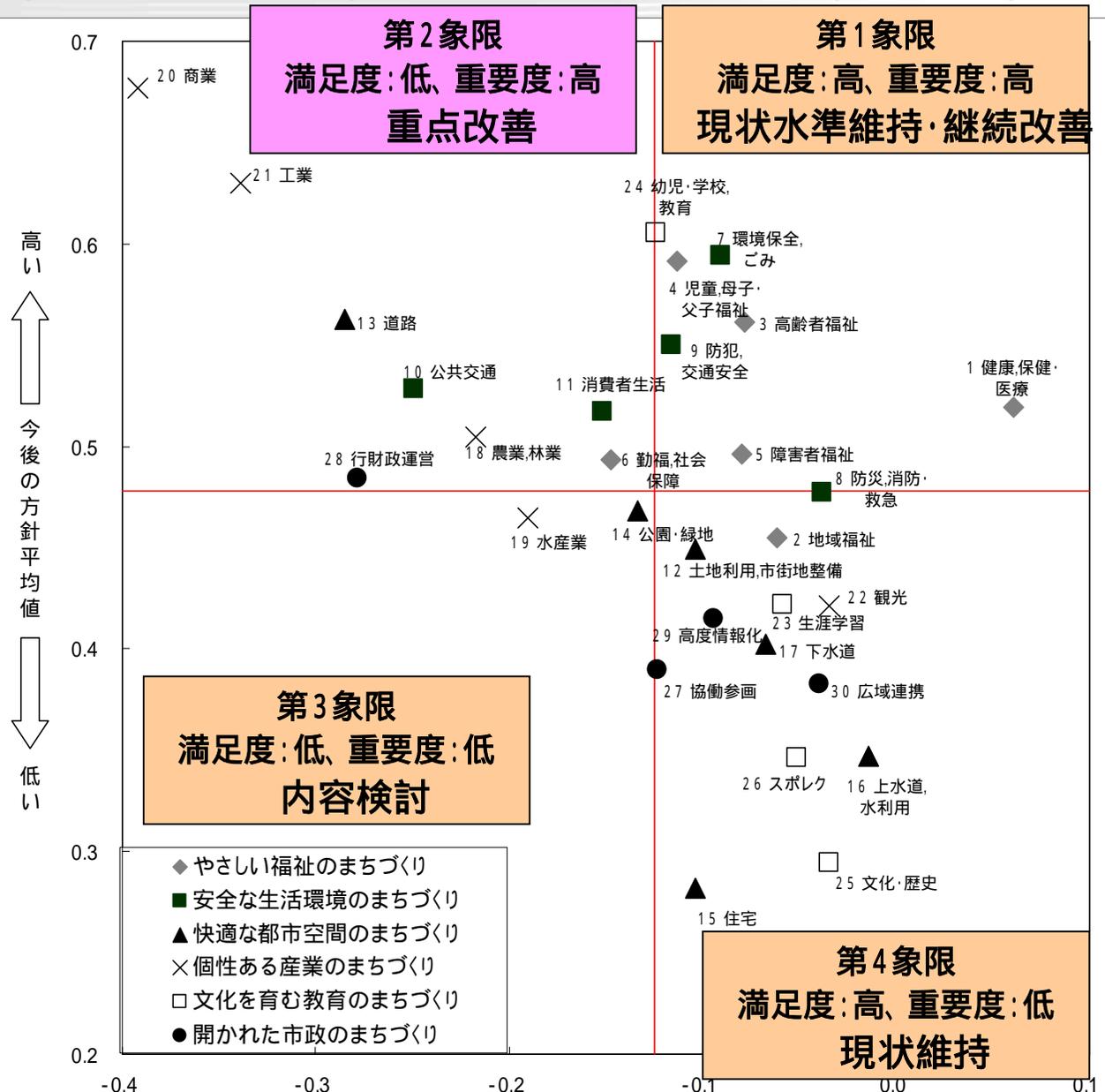
- 「積極的に参加して活動している」と「参加しているがあまり活動していない」を合わせた参加割合が高い順は、「町内会活動」49.5%、「清掃活動や環境・リサイクルなどの活動」43.3%、「祭りやイベントなどの地域の行事」33.8%。
- 参加割合が低い順は、「文化・芸術などのサークル活動」13.7%、「防犯や子どもの見守り活動」14.6%、「福祉ボランティア活動」16.1%。
- 「現在参加していないが、参加したい」の割合が高い順は、「防犯や子どもの見守り活動」57.3%、「福祉ボランティア活動」53.0%。「参加するつもりはない」の割合が高い順は、「文化・芸術などのサークル活動」28.7%、「子ども会・老人会等の地域活動」25.9%。



2-9-1 まちづくり(個別施策)に対する評価(概要)

■ 問7の各項目別に以下の点数を与え、回答者数により算出した加重平均

| 「満足度」 | | 「今後の方針」 | |
|-------|-----|---------|-----|
| 選択肢 | 点数 | 選択肢 | 点数 |
| 満足 | +1点 | より拡大 | +1点 |
| 普通 | 0点 | 現状程度 | 0点 |
| 不満 | -1点 | より縮小 | -1点 |
| わからない | 対象外 | わからない | 対象外 |
| 無回答 | 対象外 | 無回答 | 対象外 |



2-9-2 まちづくり(個別施策)に対する評価(その1)

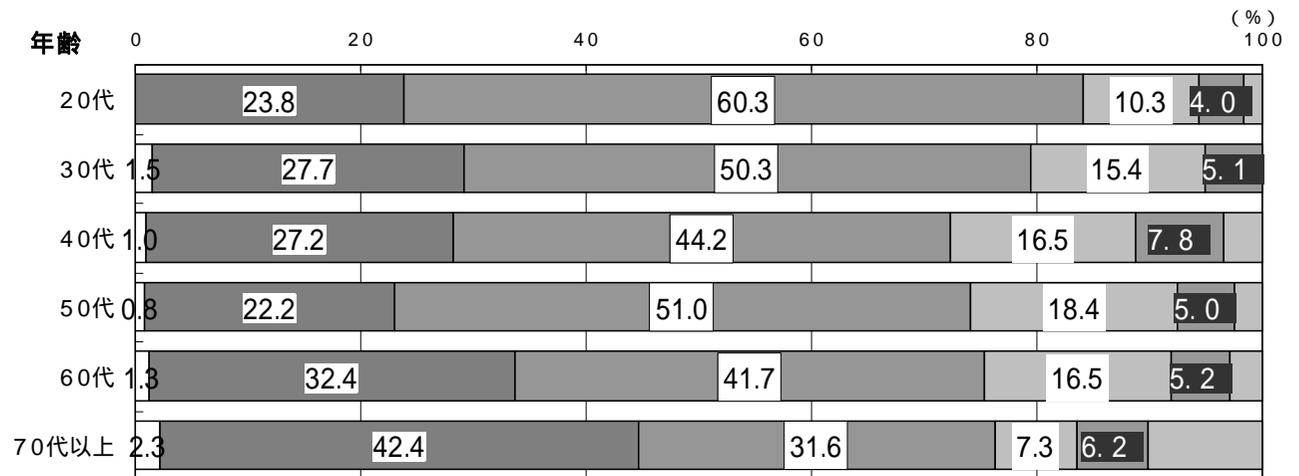
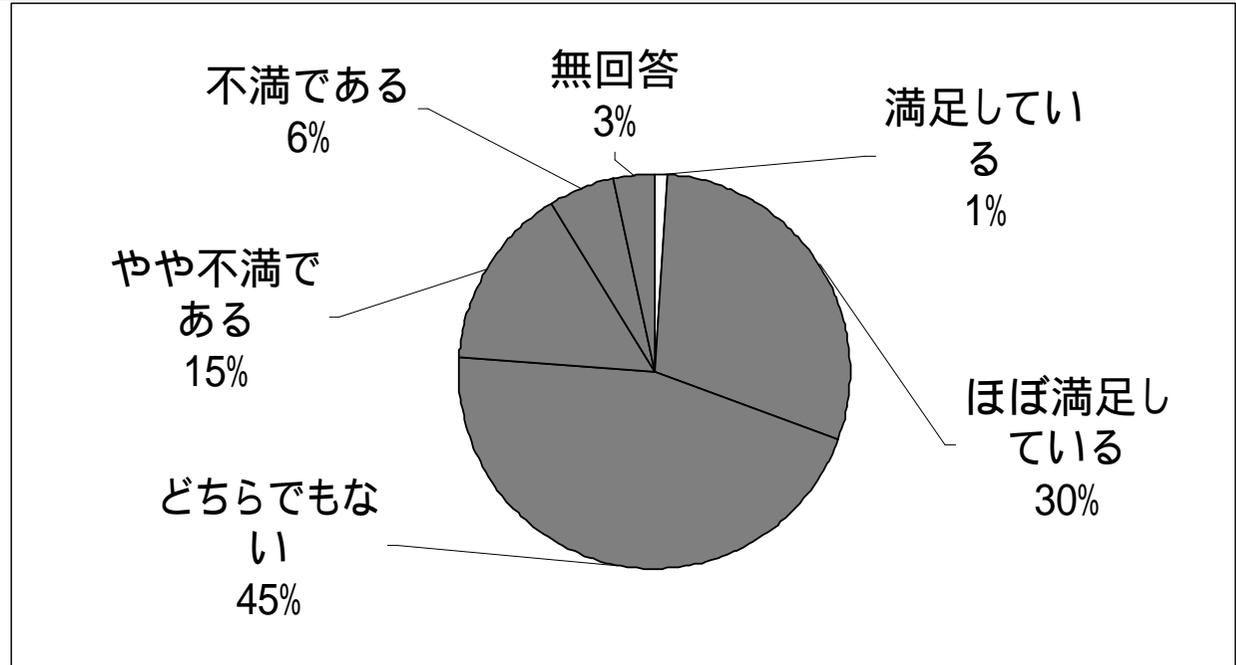
| 分類 | 市の取り組み | 現在の満足度 平均値 | 今後の方針 平均値 | 現在の満足度平均値 | | | | | | | | 散布図の 位置づけ (注1) | | |
|---------------|----------------|---------------|--------------|-----------|-----|-----|-----|-----|--|--|--|----------------------|--|-----|
| | | | | 0.0 | 0.2 | 0.4 | 0.6 | 0.8 | | | | | | |
| やさしい福祉のまちづくり | 1 健康づくり、保健・医療 | 0.06 | 0.52 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 2 地域福祉 | -0.06 | 0.45 | | | | | | | | | | | 4 |
| | 3 高齢者福祉 | -0.08 | 0.56 | | | | | | | | | | | 4 |
| | 4 児童福祉、母子・父子福祉 | -0.11 | 0.59 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 5 障害者福祉 | -0.08 | 0.50 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 6 勤労者福祉、社会保障 | -0.15 | 0.49 | | | | | | | | | | | 2 |
| 安全な生活環境のまちづくり | 7 環境保全、ごみ処理 | -0.09 | 0.59 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 8 防災、消防・救急 | -0.04 | 0.48 | | | | | | | | | | | 1・4 |
| | 9 防犯、交通安全 | -0.12 | 0.55 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 10 公共交通 | -0.25 | 0.53 | | | | | | | | | | | 2 |
| | 11 消費者生活 | -0.15 | 0.52 | | | | | | | | | | | 2 |
| 快適な都市空間のまちづくり | 12 土地利用、市街地整備 | -0.10 | 0.45 | | | | | | | | | | | 4 |
| | 13 道路 | -0.28 | 0.56 | | | | | | | | | | | 2 |
| | 14 公園・緑地、水利用 | -0.13 | 0.47 | | | | | | | | | | | 3 |
| | 15 住宅 | -0.10 | 0.28 | | | | | | | | | | | 4 |
| | 16 上水道、水利用 | -0.01 | 0.35 | | | | | | | | | | | 4 |
| | 17 下水道 | -0.07 | 0.40 | | | | | | | | | | | 4 |

2-9-3 まちづくり(個別施策)に対する評価(その2)

| 分類 | 市の取り組み | 現在の満足度 平均値 | 今後の方針 平均値 | 現在の満足度平均値 | | 今後の方針平均値 | | 散布図の 位置づけ (注1) |
|-----------------------|------------------|---------------|--------------|-----------|-----|----------|-----|----------------------|
| | | | | 0.0 | 0.2 | 0.4 | 0.6 | |
| 個性ある 産業のま ちづくり | 18 農業、林業 | -0.22 | 0.50 | | | | | 2 |
| | 19 水産業 | -0.19 | 0.46 | | | | | 3 |
| | 20 商業 | -0.39 | 0.68 | | | | | 2 |
| | 21 工業 | -0.34 | 0.63 | | | | | 2 |
| | 22 観光 | -0.03 | 0.42 | | | | | 4 |
| 文化を育 む教育の まちづくり | 23 生涯学習 | -0.06 | 0.42 | | | | | 4 |
| | 24 幼児・学校、教育 | -0.12 | 0.61 | | | | | 1・2 |
| | 25 文化・歴史 | -0.03 | 0.29 | | | | | 4 |
| | 26 スポーツ・レクリエーション | -0.05 | 0.35 | | | | | 4 |
| 開かれた 市政のま ちづくり | 27 協働参画 | -0.12 | 0.39 | | | | | 3・4 |
| | 28 行財政運営 | -0.28 | 0.48 | | | | | 2 |
| | 29 高度情報化 | -0.09 | 0.41 | | | | | 4 |
| | 30 広域連携 | -0.04 | 0.38 | | | | | 4 |
| 全体平均 | | -0.13 | 0.48 | | | | | |

2-10 まちづくりに対する総合評価

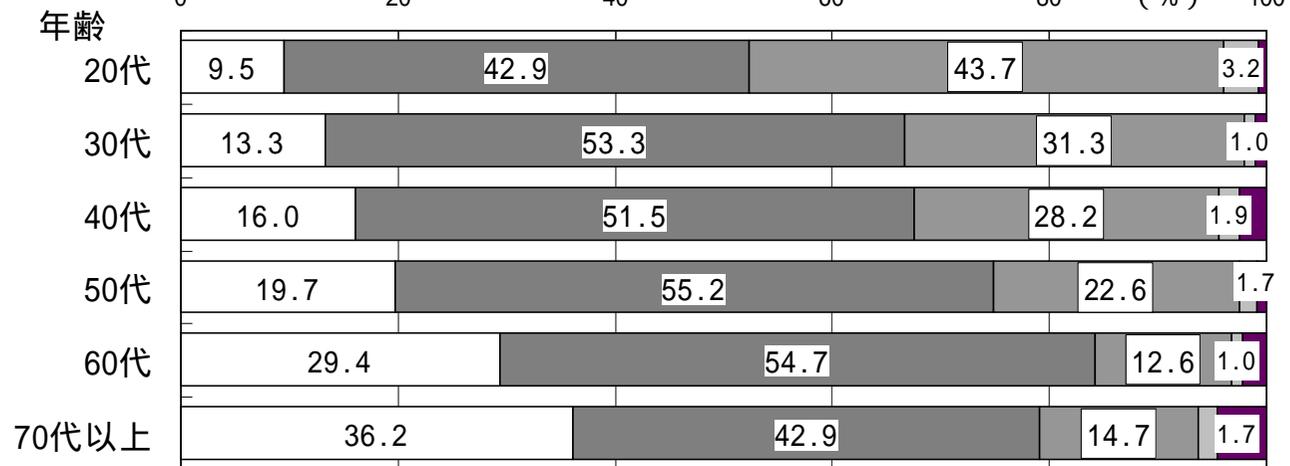
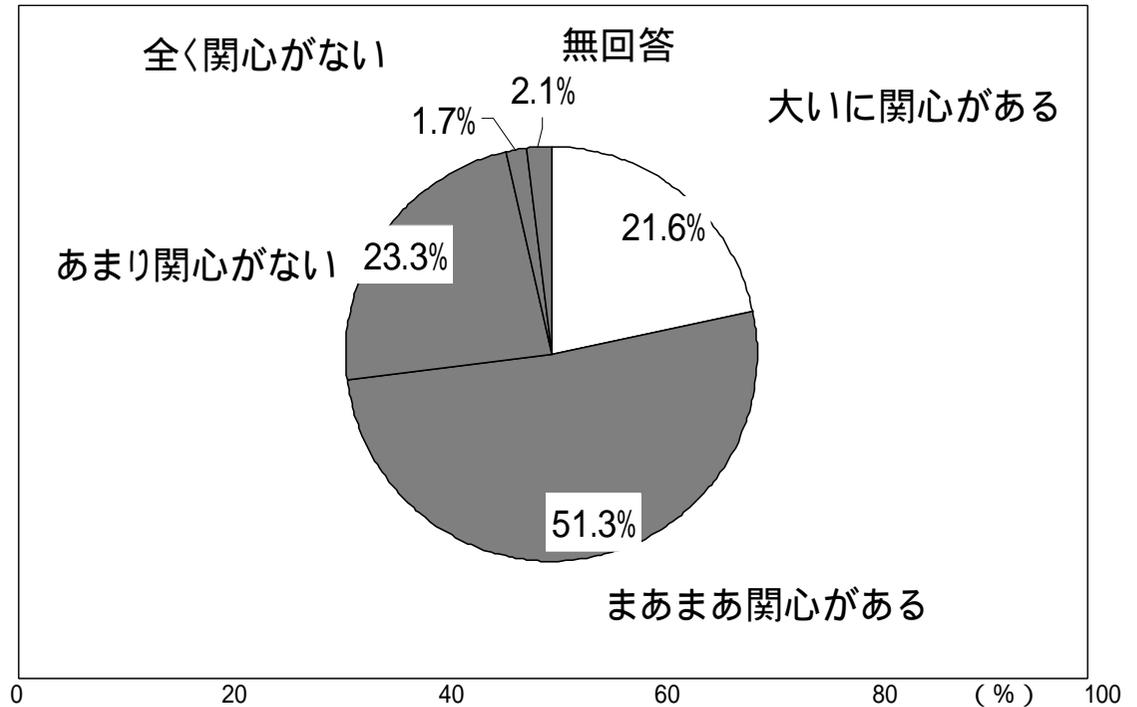
- 「どちらでもない」との回答が最も多く、約半数(45.5%)、次いで「ほぼ満足している」(29.5%)、「やや不満である」(14.8%)。
- 「70代以上」以外は、「どちらでもない」との回答が多く、特に「20代」では6割。
- 「20代」は「満足している」との回答が1件もない。
- 「やや不満である」と「不満である」を合計すると、30代・40代・50代・60代において、約2割程度



□ 満足している ■ ほぼ満足している ■ どちらでもない
 ■ やや不満である ■ 不満である ■ 無回答

2-11 市政への関心度

- 「まあまあ関心がある」との回答が半数以上(51.3%)と最も高く、次いで「あまり関心がない」(23.3%)、「大いに関心がある」(21.6%)。「大いに関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせると、7割以上となり、高い市政への関心。
- 年代が高くなるにつれ、「大いに関心がある」との回答が多くなっている一方で、「あまり関心がない」との回答は逆の傾向。

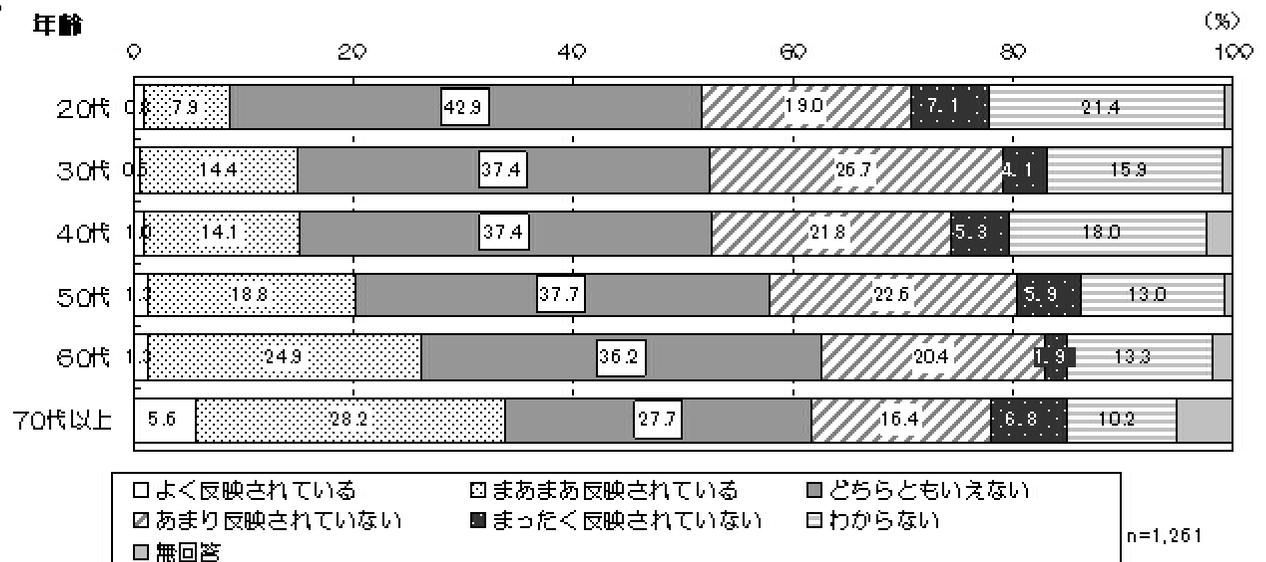
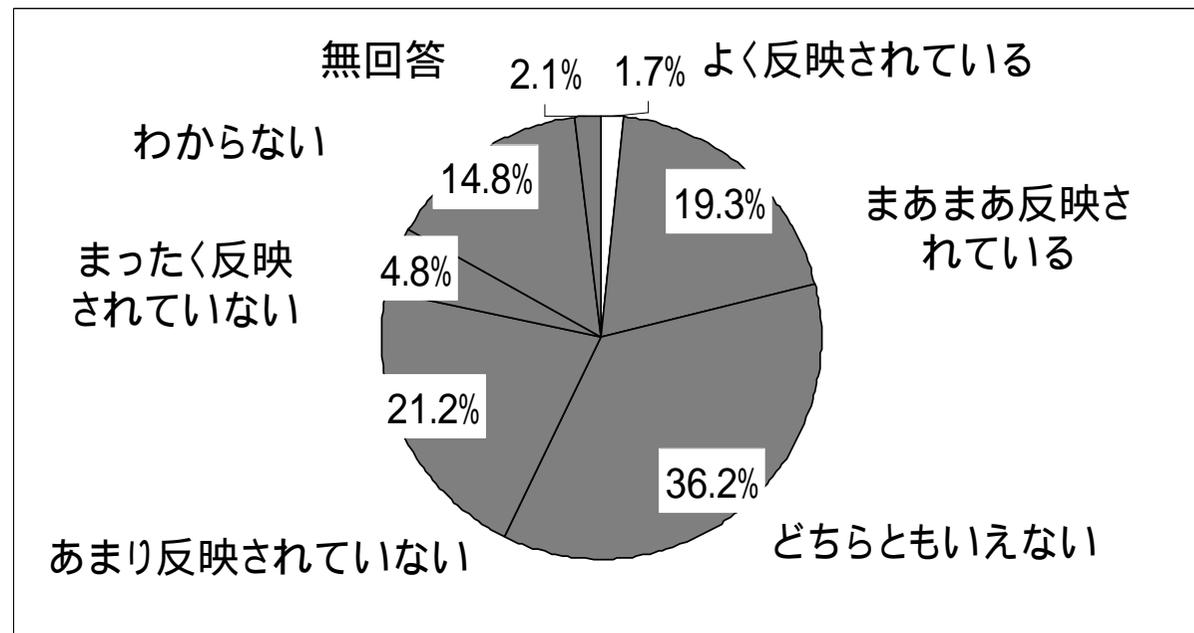


大いに関心がある
 まあまあ関心がある
 あまり関心がない
 全く関心がない
 無回答

2-12 市政への市民意見の反映

■ 「どちらともいえない」との回答が最も多く、36.2%、次いで「あまり反映されていない」（21.2%）、「まあまあ反映されている」（19.36%）。

■ 「よく反映されている」との回答が1.7%に留まる一方で、「まったく反映されていない」との回答が4.8%となっており、市政への市民意見の反映について不満。



2-13 市政への参加方法

- 「市が実施するアンケート調査への回答」が71.3%と最も高く、次いで、「ホームページや意見箱(市民への直行便)を使った意見・提言の提出」が39.7%、「市長と市民との懇談会や対話集会への参加」が30.7%。
- これらから、市民は意見が言える機会や意見を言える場を求めている。

上位順

| | | | |
|-----|------------------------------------|-------|----------|
| 1位 | 1. 市が実施するアンケート調査への回答 | 899 | (71.3) |
| 2位 | 4. ホームページや意見箱(市長への直行便)を使った意見・提言の提出 | 500 | (39.7) |
| 3位 | 6. 市長と市民との懇談会や対話集会への参加 | 387 | (30.7) |
| 4位 | 3. 意見・感想などを市に報告する | 367 | (29.1) |
| 5位 | 7. 市民主催のまちづくり会議などの市民活動への参加 | 312 | (24.7) |
| 6位 | 5. パブリック・コメント制度(意見公募制度)による意見・提言の提出 | 277 | (22.0) |
| 7位 | 8. イベントや各種事業実施のための実行委員会への参加 | 189 | (15.0) |
| 8位 | 2. 公募による審議会等の委員として参加 | 141 | (11.2) |
| 9位 | 10. 無回答 | 83 | (6.6) |
| 10位 | 9. その他 | 48 | (3.8) |
| | 合計 | 3,203 | (254.0) |
| | | (人) | (%) |

2-14 これからのまちづくり～協働の推進～

- 「市民と行政の協働によるまちづくりは大切であり、今後充実するべきである」との回答が最も多く、約6割。次いで、「市民との協働の意味や効果、範囲などが分かりにくいので、何とも言えない」が24.9%。
- 「市民と行政の協働は特に必要ない」との回答は、0.7%に留まり、市民も行政との協働によるまちづくりについて、好意的。

